



『みなさん。PTA、好きですか！』

北海道高等学校PTA連合会
会長 堀川 貴庸

6月7日、全道大会に先立って開催されました総会におきまして、新たに会長を拝命いたしました堀川貴庸（ほりかわ たかのぶ）です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、道高P連の最大の研修事業と捉えている全道大会は、今年度、道南支部に担当していただきました。初夏の暑さのなか、函館市内の会場で650名を超える会員が集い、1日目の講演会、2日目の分科会での意見交流、そして教育懇談会においては約500名の皆さんと親睦を深めることができました。大会後のアンケートからも、大会が実り多いものであったことが感じられ、主催者一同、大変嬉しく、有り難く思っております。道南支部の皆様をはじめ、会員の皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、私は道南大会で開口一番、皆さんに表題のようにお声掛けをしました。それは、村井為敦前会長がそうであったように、私もPTAが大好きです。そして、多くの会員の皆さんも同じ気持ちだと思います。しかしながら、昨今、PTA組織内の不祥事や安心して活動しづらい雰囲気などで、特に道外の都市部ではPTAを離れる保護者が目立つことを耳にします。とても残念なことです。私は自身の仕事をもちながら、PTA活動に取り組むことは、ときには大変だと思うこともあります。その取組が子どもたちや学校を支える一助になると思うとやりがいと喜びを感じます。そして何より、同じ高校生を持つ保護者同士のつながりの中で、共に支え合いながら活動できることで、とても勇気が湧いてくるのです。PTA活動が不祥事や心理的安全性を脅かす状況につながっては元も子もありません。皆様、お一人お一人がすでに組み込まれているように、私たちPTAの目指すところも、先生方とともに力を合わせて、助け合いながら、子どもたちの成長を願い、学校を応援することにあると考えております。

北海道の高校のPTA組織は全国的に見ても極めて強固なものがありますが、そのことに甘んじることなく、会員の皆様とともに、私も一歩でも前に進むPTAでありたいと思うのです。これからも皆さんとともに大いに語り合って、子ども達を応援していきたいと思います。一緒に声を掛け合って頑張りましょう！

令和7年度の事業計画概要

総会

6月7日（土）函館市 函館市民会館

高等学校教育振興対策事業

7月10日（木）北海道教育委員会教育長及び高校教育関係部局との懇談

健全育成事業

高校生と語るつどい

石狩、道南、空知、十勝、北見、釧路、根室の7支部で開催予定

「高校生ICT Conference 2025 in 北海道」への協力（札幌市、帯広市）

研修事業

第74回北海道高等学校PTA連合会大会道南大会

第74回全国高等学校PTA連合会大会2025三重大会（主管 三重県高P連）

進路対策事業

経済団体への新規高卒予定者の雇用確保、インターンシップ協力要請

調査広報事業

ホームページによる情報発信

高P連会報第8号発行

顕彰事業

功績団体表彰、功績者表彰、優良PTA会報表彰、退任PTA会長への感謝状の贈呈



道高P連会報

第8号

令和7年8月20日

北海道高等学校PTA連合会

〒060-0005

札幌市中央区

北5条西6丁目1番

第二道通ビル

Tel 011(232)0007

Fax 011(232)0006

第75回北海道高等学校PTA連合会大会空知大会

期 日 令和8年6月6日（土）・7日（日）
会 場 岩見沢市内

主管支部 空知支部
主管校 北海道長沼高等学校

令和7年度 第74回道南大会

今年度の全道大会（道南大会）は道南支部の主管の下、1日目に開会式と講演が行われ、2日目に分科会が実施されました。

分科会は各テーマに基づいた話題提供の後、小グループに分かれての意見交換が行われました。その後各グループからの話し合いの報告がなされ、それを受けて、ファシリテーターがテーマに沿ってまとめを行いました。今回も話しやすい雰囲気の中、自由な意見交換が行われ、全道から集まった参加者の間で交流が深められました。

開 催 日 令和7年6月7日（土）8日（日）

会 場 本会場：函館市民会館

分科会：遺愛女子高等学校 函館西高等学校

函館工業高等学校 市立函館高等学校

主管支部 道南支部

（主管校 北海道函館中部高等学校）

【大会主題】

新時代をひらく若者を共に支えよう

～ 本音の語らいから生まれるPTAの活力 ～

【大会メッセージ】

『新たな未来を創る子どもたちを支え育むために』

今こそ求められるPTAの役割と学校・家庭・地域とのつながりについて、
異国情緒あふれる街並み、美しい夜景が魅力の函館で大いに語り合いましょう

< 開会式 >

開会の言葉に始まり、道高P連堀川貴庸会長が主催者として挨拶をしました。続いて、大会準備に早くから取り組まれてきた金澤大会実行委員長の挨拶、さらに全国高等学校PTA連合会田名部智之会長から挨拶がありました。

続いて、特別功績者、功績団体、功績者、優良PTA広報誌（旭川東高等学校、苫小牧東高等学校）の表彰及び感謝状の贈呈が行われ、個人とそれぞれの代表に表彰状と感謝状が授与されました。

その後、来賓の北海道教育委員会教育長中島俊明様、北海道高等学校長協会会長佐賀聡様、函館市長大泉潤様よりご祝辞をいただきました。

最後に堀川会長が午前中に行われた総会で承認された新役員の紹介を行い、終了しました。



< 講演 >

講師 株式会社セコマ代表取締役会長 丸谷 智保 氏

演題 『「心で考える経営」～地域と共に～』

北海道を代表するコンビニ「セイコマート」でおなじみの（株）セコマ代表取締役会長丸谷智保氏のご自身の経験に基づいた経営観をお話していただきました。道内産の商品を重視し、地域に根ざした販売網の確立や、今や1,000店を超えるコンビニを支える流通機能の拡充など、傑出した先見性とリーダーシップに感嘆された方も多かったようです。

これからの若者へのアドバイスとしてアウトプットよりインプットを、基礎・基本を大事にすることの重要性を説かれていました。今後も道内経済界を牽引し、益々ご活躍されることを祈念いたします。



< 第1分科会 >



第1分科会は遺愛女子高校を会場に「これからのPTA活動の在り方について」というテーマで開催されました。

江差高校の葛山直樹PTA会長、藤本純一教頭からの話題提供の後、函館大学付属白稜高校の扇柳尚英校長をファシリテーターとして各グループで熱心な意見交換がなされました。

現在PTA活動が保護者の不参加等困難とも言える状況にある中、どうしても活動を持続し、活発化させることが出来るのか、参加者からそれぞれの単Pの現状と課題についていろいろな事例の報告や意見が出され、共感する声が多く聞かれました。

< 第2分科会 >

第2分科会では函館西高校を会場に「PTA活動と進路指導について」というテーマで意見交換が行われました。

最初に今金町農業協働組合管理部企画審査課長の工藤耕治氏、北工建設株式会社代表取締役佐藤剛人氏による話題提供があり、その後ファシリテーターである檜山北高校の荻谷美加教諭が勤務校での状況について話をされました。少子化により人口が減少している地域事情の中での進路指導の難しさ等、北海道の多くの地域が抱える課題にPTAとしてどう関わっていくか率直な意見交換がなされました。



< 第3分科会 >



第3分科会は「DXO（ディクソー）プログラムを活用した発達支持的生徒指導について」をテーマに函館工業高校で開催されました。話題提供者の株式会社手放す経営ラボトリー取締役の乾真人氏からDXO（ディクソー）プログラムについて説明をしていただきました。また同研究員の炭屋昭一郎氏がファシリテーターとして丁寧に進行をされました。DXO（ディクソー）プログラムというあまり聞き慣れない言葉に身構える参加者も多かったようですが、個性が発揮されるよう柔軟な組織・集団に変えていくこと、相手に配慮しながら自分の主張もする「1メッセージ」の活用等、今後の生徒指導、家庭でのコミュニケーションに新たなヒントを得ることが出来たとの感想も聞かれました。

用等、今後の生徒指導、家庭でのコミュニケーションに新たなヒントを得ることが出来たとの感想も聞かれました。

< 第4分科会 >

第4分科会は市立函館高校で、「学校、家庭、地域との連携・協働による学校づくりの未来について」をテーマに意見交換が行われました。奥尻高校長尾祐輔教頭からは、自校の実績を紹介しながら話題提供がなされました。ファシリテーターは北海道文教大学特別学長補佐・教授、地域創生実践総合研究所所長の木村俊昭氏が務められ、豊富な知識に基づいた助言によりスムーズに進めていただきました。参加者からは特色あるPTA活動の報告や今後の活動に向けたアイデア等がいろいろ出され、終始活発な意見交換がなされました。



令和7年 第74回全国高等学校PTA連合会大会2025三重大会

今年の全国大会は三重県津市で開催され、8月21日（木）に開会行事、分科会、22日（金）に記念講演を行いました。

全ての分科会と全体会は9月8日（月）10:00から12月8日（月）10:00までアーカイブ配信されます。配信は送付されたアーカイブ視聴参加用パスワードにより視聴が出来ます。

大会の詳細は、三重大会のホームページを参照してください。



令和 7 年度 北海道高等学校 PTA 連合会総会

代議員総数46名のうち出席者は44名（出席者とされる委任状提出者 8 名を含む）、欠席者は 2 名で、出席者が総会成立要件である 3 分の 2 の31名を超えており、総会の成立を確認しました。

村井為敦会長の開会挨拶の後、議長に高橋邦雄代議員（森高校 PTA 会長）、議事録署名人に吉井哲代議員（札幌西高校 PTA 会長）及び松田素寛代議員（室蘭栄高校校長）を選出し議事に入りました。

議 案

- (1) 第 1 号議案 「令和 6 年度事業報告・収支決算報告」
6 年度の会務と事業概要、一般会計及び特別会計決算報告及び会計監査報告に基づく提案が承認されました。
- (2) 第 2 号議案 「会則の改正について」
副会長を 1 名増やす提案が承認されました。
- (3) 第 3 号議案 「令和 7 年度役員の選任」
役員選考委員会から推薦された令和 7 年度役員候補（会長、副会長 6 名、監事 3 名）の選任が承認されました。
- (4) 第 4 号議案 「令和 7 年度事業計画・収支予算」
7 年度の事業計画（会議、高校教育振興対策事業、健全育成事業、研修事業、進路対策事業、調査広報事業、健康安全対策事業、表彰事業、各支部との連携、北海道庁及び北海道教育委員会等の教育関係機関が設置する各種審議会等への役員の派遣）及び一般会計予算案、各特別会計予算案（退職金積立金・保険制度・団体助成事業・高校生健全育成事業・特別損失基金）の提案が承認されました。

報 告

次年度以降の道高 P 連総会・全道大会の開催日程及び主管支部について報告されました。

令和 7 年度 北海道高等学校 PTA 連合会 役員名簿

役職名	氏 名	所 属	所属校等
会 長	堀川 貴庸	十 勝 支 部	帯 広 南 商 業
副 会 長	野尻 敦子	石 狩 支 部	札幌国際情報
副 会 長	雨池 工盛	空 知 支 部	岩 見 沢 東
副 会 長	橋本 洋一	石 狩 支 部	市立札幌大通
副 会 長	遠藤 美枝	石 狩 支 部	札 幌 月 寒
副 会 長	今井 宏昌	十 勝 支 部	帯 広 工 業
副 会 長	佐賀 聡	校 長 協 会	札 幌 北
監 事	森下 亮	釧 路 支 部	釧 路 工 業
監 事	蝦名 竜次	後 志 支 部	寿 都 部
監 事	西垣 努	根 室 支 部	中 標 津
顧 問	海東 剛哲	留 萌 支 部	留 萌
顧 問	村井 為敦	旭 川 支 部	旭 川 東
顧 問	辻 麻紀	石 狩 支 部	江 別
常 任 理 事	街道 美恵	石 狩 支 部	札 幌 東
理 事	中村可奈子	石 狩 支 部	石 狩 翔 陽
常 任 理 事	金澤 秀司	道 南 支 部	函 館 中 部
理 事	吹田 英明	後 志 支 部	小 樽 桜 陽
理 事	進藤真砂也	空 知 支 部	滝 川
理 事	福沢 勇氣	旭 川 支 部	旭 川 永 嶺
常 任 理 事	住吉 智也	留 萌 支 部	留 萌
理 事	木賀 義友	名 寄 支 部	名 寄
理 事	佐藤 孝洋	北 見 支 部	網 走 南 ケ 丘
理 事	新村 裕司	十 勝 支 部	帯 広 柏 葉
理 事	滝澤 雅博	釧 路 支 部	釧 路 明 輝
理 事	荒井 豊	根 室 支 部	別 海
常 任 理 事	後藤田勇人	胆 振 支 部	室 蘭 栄
理 事	新川 智典	日 高 支 部	静 内
理 事	千葉 佳貴	校 長 協 会	帯 広 南 商 業
理 事	須藤 克志	校 長 協 会	札 幌 東
理 事	吉村 教賢	校 長 協 会	石 狩 翔 陽
理 事	相馬 利幸	校 長 協 会	札 幌 西
理 事	岩崎 弘之	校 長 協 会	大 麻
理 事	平野 道雄	校 長 協 会	札 幌 南
理 事	渡辺 淳一	校 長 協 会	岩 見 沢 東
常 任 理 事	高橋 昌宏	教頭・副校長会	札 幌 東
常 任 理 事	鈴木 貴之	公立学校事務長会	石 狩 翔 陽

令和 7 年度 収支予算書

一 般 会 計

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	17,700,000	17,700,000	0
補助金等収入	270,000	270,000	0
雑収入	1,000	650	350
他会計からの繰入金収入	16,507,000	12,003,350	4,503,650
事業活動収入計	34,478,000	29,974,000	4,504,000
2. 事業活動支出			
事業費支出	16,850,000	15,740,000	1,110,000
広報活動事業費	1,660,000	1,660,000	0
高校生と語るつどい事業費	2,650,000	3,350,000	△ 700,000
社会教育活動振興事業費	680,000	950,000	△ 270,000
健全育成活動事業	3,840,000	3,840,000	0
研修事業費	4,440,000	2,360,000	2,080,000
委員会活動事業費	80,000	80,000	0
地区助成事業費	800,000	800,000	0
表彰事業費	900,000	900,000	0
大会助成事業費	1,800,000	1,800,000	0
管理費支出	29,560,000	23,840,000	5,720,000
給料手当支出	9,900,000	4,300,000	5,600,000
福利厚生費支出	1,530,000	720,000	810,000
理事会議費	2,900,000	3,300,000	△ 400,000
支部事務局長会議費	0	0	0
旅費交通費支出	4,000,000	4,300,000	△ 300,000
通信運搬費	1,890,000	1,920,000	△ 30,000
消耗品費支出	900,000	1,000,000	△ 100,000
修繕費支出	80,000	130,000	△ 50,000
印刷製本費支出	340,000	400,000	△ 60,000
光熱水料費支出	250,000	250,000	0
賃借料支出	3,100,000	2,700,000	400,000
負担金支出	4,320,000	4,320,000	0
雑支出	350,000	500,000	△ 150,000
他会計への繰出金支出	50,000	50,000	0
事業活動支出計	46,460,000	39,630,000	6,830,000
事業活動収支差額	△ 11,982,000	△ 9,656,000	△ 2,326,000
II 予備費支出	226,890	300,669	△ 73,779
予備費支出	226,890	300,669	△ 73,779
当期収支差額	△ 12,208,890	△ 9,956,669	△ 2,252,221
前期繰越収支差額	12,208,890	9,956,669	2,252,221
次期繰越収支差額	0	0	0